

今年もよろしくお願ひします



〈日の平〉

鬼の金剛

河辺村でも「鬼の金剛」という伝統行事が行なわれている地区が数カ所あります。

これは、悪霊を追い払う意味で「大きなぞうりをはく大男がいる」ということを暗示しているそうです。このぞうりと、わら筒に弁当を入れてつるすわけですが、

この弁当を食べると、夏やみせず、年中無病息災だといわれています。写真の地区では弁当は無くなっていました。現在では、食べる人も少なくなりましたようです。



(とじて保存しましょう)

'92 1 月

発行

河辺村公民館
☎ (0893) 39-2111
内線 205・206

佐川印刷 KK
吉田町北小路
☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(平成4年1月1日現在)

世帯数	568戸
男子	835人
女子	849人
計	1,684人

H 3. 1. 1	~1,716(△ 32)
H 2. 1. 1	~1,743(△ 59)
S 64. 1. 1	~1,783(△ 99)
S 63. 1. 1	~1,829(△ 145)
S 62. 1. 1	~1,887(△ 203)

やねばし

昨年、湾岸戦争に明け、ソ連邦解体に暮れるという正に歴史の転換の年であった。一年間で世界地図がこれ程塗り変えられると誰が予想出来たであろう。又、国内では急速に国際化、金融の自由化が進み、バブルが崩壊して金融界のモラル、企業理念が問われるなど多岐にわたる事象が次々とあつた。

た。

さて、今年の幕明けはやはりブッシュ大統領来日に代表される新たな日米関係の始まりであろうか。はたまた二超経済大国だけの約束事が日本を世界的で新たな貿易摩擦へと引きずり込む始まりであろうか。一年が終つてみなければわからない。とにかく昨今の情勢の変化たるや、その質と大きさにおいてかつてない規模で進行していく。時代に遅れない事だけでも至難の技と思われのだが、まして時代の先取りともなると最早神技の域である。正月頃の新聞に時代感覚診断のお遊びが載っていた。真面目に答えてみるとなんと「あなたは明治人の感覚」だそうだ。笑えない自分である。

(福)

年頭のごあいさつ

村長 大野 富士男

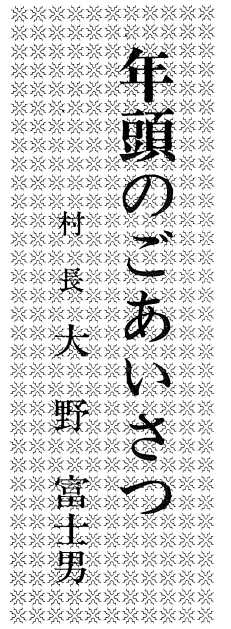


村民の皆様明けましておめでとうございます。

新春を迎え謹んで新年のごあいさつを申し上げますとともに、皆様方のご健康とご発展を心から祈念いたす次第であります。

昨年中は、村行政全般にわたり皆様方の深いご理解と強力なご協力を賜り、農林業の振興を始めとして各事業もそれぞれ効果を上げ順調に進展をいたしておりますことを、心から感謝をいたしておるところであります。

既にご承知のとおり、国においてはお歳入不足により平成四年度におきましては地方交



付税の伸び率は、平成三年度を下回る圧縮した五年ぶりの低い伸び率で、大蔵省原案として出されているところでありまして、誠に厳しい財政運営を余儀なくされるものと思えます。好景気がいつまでも続くものではなく、いつかはこの景気は後退するものと予測をしております財政の健全化を進めてきたところでもあります。

私は今後、高齢者福祉への対応、農林業の振興、観光事業の推進、基幹道路の整備等重要な課題があり、多額な費用が必要なため国へ強力にお願いをしてみたいと思っております。

本村にとりましてもまだまだ大きな問題が山積しておりますが、そういうなかで健全財政確立のため、予算編成におきましては事務、事業全般について見直し創意工夫し、最少の経費で最大の効果が得られるよう努力をしてみたい所存であります。政策予算で

あります農林業の振興又村民の所得を守るための公共事業への投資、豊かな文化の里づくり、村民の皆様方の憩いの場所づくり等につきましても無駄のない予算編成により減額をするつもりは毛頭もっておりませんので、各々の事業に強力に取り組んでまいりたいと思っております。本年も引き続き社会情勢の変化又高齢化社会を急速に迎え、その対応は誠に厳しい課題に直面し、確かな対応を必要としております。

初心を忘れず山積する重要課題に取り組み地域の活性化を図りながら、村政の発展と住民福祉の向上に最善をつくし、村民の皆様に応えるべき村政の将来を見つめ皆様とともに明日のよりよい河辺村を築くため、一層の努力を注いでゆく決意であります。

私がいつも申し上げておりますように、第一に行政は常に正しく、行政機関は各分野において責任体制を確立し、信頼をいただける行政にしなければならぬと思っております。

第二は公平な行政を推進し、社会的経済的に弱い立場にある方々に光が当るように

努力をすることであり、第三には経験と勘だけに頼る行政でなく法律、条例に基づいた行政の推進を図るべきであります。

第四には行政は常に健全財政であるべき努力をしていかなければならないと思っております。

毎々お願いを申し上げます。村づくりは協調と共助の力をもつて、村民全員が同一の目的のために努力をすることにあります。皆様方のご努力のもとで対話を通じ

愛媛県・農薬安全啓発

相談窓口を設置

愛媛県では、農薬安全啓発相談窓口を設置し、農薬の安全性、農薬の有用性、農薬の使用方法、残留農薬等について、消費者、農業者などの相談に専門家が広く応えることになりました。

◎ 設置日

毎月の第一週の水曜日（八時三十分～十七時）、但し、当日が祝日の場合は、次週の水曜日に開設

◎ 設置場所

名称	住所	電話番号
愛媛県農薬安全啓発相談窓口	北条市上難波 字塩子甲311 (農業試験場内)	0899 93-2020(代)
愛媛県農薬安全啓発相談窓口	西条市神拝 甲150-1 (西条地方局内)	0897 56-1300(代)
愛媛県農薬安全啓発相談窓口	宇和島市天神 7番1号 (宇和島地方局内)	0895 22-5211(代)

の和の行政、村民皆様方の総意を反映した活力ある村づくりに専念いたす所存であります。
今後とも参加、創造、未来を行政理念として取り組んでまいりたいと思っておりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。た新年が皆様方にとりまして最もすばらしく幸で平和な年でありますように、祈念をいたしまして新年のごあいさつといたします。

産業文化祭

「河辺のこれからを探る産業文化祭」をテーマに第六回産業文化祭が、去る十一月十五日（金）に盛大に開催されました。

公民館の会場では、今回幼稚園児も加わり立派にできた幼小中学校音楽発表会・文化協会発表会、多くの人出でにぎわった婦人会バザー、ふるさと市、おたのしみ抽選、餅まきなどが行なわれました。

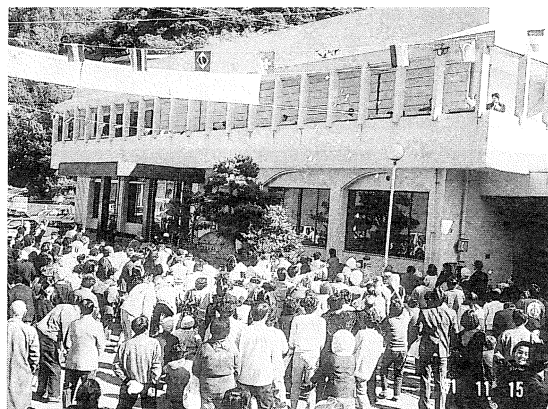
農林業集出荷場の会場では、農林業機械即売、木材見本市などが行なわれました。

老人福祉センター会場では、展示部門を中心に書道、絵画、華道、写



平成三年度村内小中学校音楽発表会

～ 上手に歌えました ～



～ 大勢の人出でにぎわいました ～

真、陶芸、短歌、健康パネル、年金パネル、趣味の作品、農林業資料、農林水産品評会などの作品が約三六一点展示され、多くの観覧者の足を止めていました。

なお、審査のあつた品評会入賞者は次のとおりです。

平成三年度篤農家・篤林家受賞者は次のとおりです。

- | | | | |
|-------------|------|-------|-----|
| 篤農家賞 | 葉たばこ | 菊地 | 稔 |
| 篤林家賞 | 椎茸 | 新 | 正幸 |
| 大洲市農協河辺支所長賞 | 乾椎茸 | 福宮 | 清光 |
| 河辺村長賞 | くり | 帽子美代子 | |
| 河辺村森林組合長賞 | トマト | 中山サカエ | |
| 金賞 | 乾椎茸 | 本田 | 修 |
| // | 大根 | 稲田 | 秀一 |
| | 乾椎茸 | 山田 | スエ子 |

従来、自治会や町内会などが、団体の名義での不動産登記などを行うことはできませんでした。このため、財産上の種々のトラブルの発生することがありましたが、地方自治法の一部改正に伴い、その団体が村長によって「地縁による団体」と認められれば、不動産登記などができることになりました。

なお、認可を受けるためには、次の要件を満たす地縁による団体の代表者が申請を行なわなければなりません。

地縁団体と認められれば 不動産登記が可能です

- ① 良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行なうことを目的とし、現にその活動を行なっていることと認められること。
- ② その区域が、住民にとって客観的に明らかなものとして定められていること。
- ③ その区域に住所を有する全ての個人は、構成員となることができるものとし、その相当数が現に構成員となっていること。
- ④ 所定の記載事項を記載した規約を定めていること。

- | | | | |
|----|---------|----|-----|
| 銀賞 | ねぎ | 新 | 満夫 |
| // | ユズ | 塚野 | ナミ子 |
| // | 乾椎茸 | 松井 | 万寿雄 |
| // | 生椎茸 | 山本 | 明 |
| 銅賞 | 白菜 | 細井 | マスエ |
| // | ごぼう | 長岡 | 美代子 |
| // | キウイフルーツ | 宮岡 | ハツ子 |
| // | 大豆 | 上田 | 文子 |
| // | 乾椎茸 | 亀岡 | 登 |
| // | // | 中村 | 安兼 |
| // | // | 細井 | マスエ |
| // | 生椎茸 | 沖石 | マツ子 |



～ なかなかのきばえじゃのー ～

盛大に開催 三杯谷の滝まつり

現在、三杯谷の滝附近は、屋根橋、遊歩道、休憩所、トイレが整備され、附近を通る坂本龍馬脱藩の道とあいまって、河辺村のイメージアップに貢献する村内有数の観光地となりました。

この三杯谷の滝開発は、地域住民の長年の夢であり、その喜びは大変なものです。

この三杯谷の滝を村民の皆さんはもとより、村外のみなさんにも知って頂きたいと、



～ 地元をあげてのお祭でした ～



～ 樽の瀧龍王神御宮 ～

地域住民が主体となつての三杯谷滝まつりが十一月十七日

(日)盛大に開催されました。

当日は、会場あふれんばかりの人が集つてのまつりとなり、地域住民の心意気を感じられるすばらしいまつりでした。

また、ここには、地域住民が総力を結集しての樽の瀧龍王神御宮も建築され、沢山の参拝者が訪れています。

商工ふれあいまつり

商工業者が、消費者とのふれあいを求めて実施する商工ふれあいまつりが十一月三日

(日)に盛大に実施されました。商工業者が一体となり、消費者の皆さんに楽しい一日を

過して頂きたいと、景品付きもちまき・無料飲み放題の居酒屋コーナー・喫茶コーナー・

歌謡ショー・水軍太鼓等たのしい催物をいっぱい用意して

のまつりに、時間を忘れての楽しい一日を過し、クライ

マックスは、豪華商品が当たる宝くじで、歓声とため息で

幕を閉じました。



～ 大盛況でした ～

交通安全祈願祭

年末年始の交通安全県民運動期間中(十二月二十一日から一月十日)

の十二月二十四日、基幹集落センター前において、

大洲警察署長(代理)・大洲交通安全協会会長及び村

内の交通安全関係者多数のご参列を

頂き、「交通安全祈願祭」が厳粛のうちに

行われました。今年も老人クラブからは

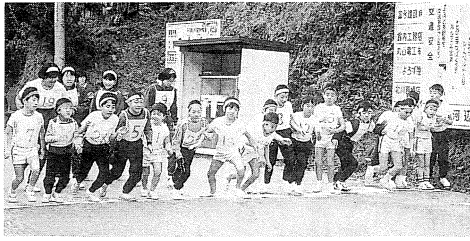
年末に二日間かけて作られた



～ 交通事故 0 でありますように ～

すばらしいできばえのしめ縄約四百本を無償で提供され、また河辺中学校生徒会の皆さんからは一羽一羽丹念に折つた鶴を十羽一組にし、交通安全のスローガンを書いたたんざくを付けたものを二百本いただき、これに神官の清祓を受け参列者全員で交通安全を祈願しました。祈願祭終了後は、交通安全茶屋を開き安全祈願したしめ縄と折り鶴、交通安全のチラシをドライバーに配り交通安全を呼びかけました。しめ縄と折り鶴をもらつたドライバーは、思わぬプレゼントに、ニコニコされておりました。

この行事は、昭和六十二年より実施され、恒例となつておりますが、この行事が定着した今日まで老人クラブ会員の一贯した奉仕活動と、また、中学校生徒の皆さんのご協力があつてこそ続くものであります。本当にありがとうございます。



～ 子供達は元気です ～

マラソン大会

スポーツあれこれ

第六回河辺村健康マラソン大会が十二月一日(日)、「河辺村住民の健康増進をはかり地域住民の連帯意識づくり、健康な身体と明るい家庭づくりに努める」を目的に開催されました。

今年は、河辺村青少年育成会議の御芳志により「お楽しみ抽選会」を行なうことができました。「当たって！」と願いを込めて引く子供たちの顔は、真剣です。うれしそうに顔、少しがっかりした顔。

子供たちの表情は豊かでした。マラソンをした直後とは思えない程の元気です。

入賞者は次のとおりです。

☆2Kコース

小学生低学年の部

- 一位 藤田 大樹
- 二位 柴野 勝啓
- 三位 片山 権人

小学生高学年の部

- 一位 上野 陽司
- 二位 富永 文明
- 三位 角藤 明文

一般の部(中学生含む)

- 一位 小林 聡
- 二位 上林 瞳
- 三位 高木 薫

☆4Kコース

小学生の部

- 一位 富永 和孝
- 二位 露内 秀和
- 三位 竹林 雅和
- 森川 良平

一般の部

- 一位 露内 智和
- 二位 宮岡 順一
- 三位 高橋 幸治

☆6Kコース

小学生の部

- 一位 上野 伸司

レク・バレー大会

分館対抗レクリエーションバレーボール大会が十一月十日(日)、河辺中学校体育館において開催された。

この大会は、高齢化時代をふまえ、日頃あまりスポーツになじみのない年代(四・五十代)を対象に男女別に行なわれた。

やわらかいボールで、打っても思ったところへ飛ばないおもしろさもあって、笑いの絶えない、わきあいあいの楽しい大会になった。



～ 笑いの絶えない一日でした ～

この大会を機会に、日頃から少しでもスポーツをする人が増えることを期待しています。

試合の結果は次のとおりです。

○男子

- 一位 植松分館
- 二位 北平分館
- 三位 大伍分館
- 四位 坂本分館

○女子

- 一位 坂本分館
- 二位 植松分館
- 三位 大伍分館
- 四位 北平分館

愛媛スポーツレク'91

愛媛スポーツ・レクリエーション祭'91が十一月四日愛媛県総合運動公園ほか周辺会場で開催された。

この大会に出場するためには、八幡浜地方大会において、三位までに入らなくてはならず、昨年度はバドミントン女子が優勝という素晴らしい成績をあげ出場した。今年度は、優勝はできなかったものの、二位となり二年連続の出場となった。軽スポーツの部においても、クロケット、インディアカ、ターゲット

バードゴルフが出場した。さすがに、県下の強豪が集まっただけに、全種目とも一回戦を突破することはできなかった。

バドミントン女子においては、来年度も本大会への出場はもろんのこと、まず一回戦突破を目標に練習に励まれていることを期待しています。

保険で安心 明るくスポーツ ——— 900万人の保険 スポーツ安全保険

- いつでも、だれでも、5人以上のグループで加入できます。
- 掛金(年額) 子ども・文化活動360円、大人1,100円(老人クラブ団体500円)

傷害保険	死亡・後遺障害	最高1,400万円(老人400万円)	賠償責任保険	対人1億円	共済	100万円
	入院(1日あたり)	4,000円(老人1,800円)	支払限度額	対物500万円	見舞金	
	通院(1日あたり)	1,300円(老人800円)				

- 対象となる事故 ●団体の管理下の活動中の事故 ●通常の経路往復中の事故

お問い合わせは スポーツ安全協会愛媛県支部 TEL0899-41-2111(県庁・保健体育課内)
又は河辺村公民館 TEL0983-39-2111までご照会ください。

趣向凝らす河中文化祭

昨年十一月二十三日(土)に、第四回河中文化祭が行なわれました。今回のテーマは「奇跡を起こし、夢と希望の渦をまけ」ということで、例年の催し物に加え、新しいものを取り入れ、生徒会を中心として、準備を進めてきました。特に今回は、文化的要素を持つものということで、学級

の出し物は、展示に限定することになりました。各学年のテーマは、一年生「未来」、二年生「夢・思い出」、三年生「夢と希望」と決定し、趣向をこらして、製作にあたりました。

また、昼食は、PTAの方々の協力

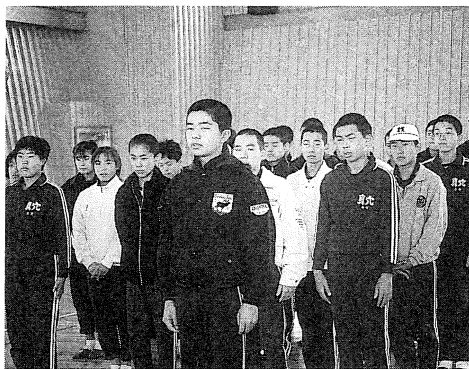


～ 河辺の未来かな? ～

平成三年度「ふるさと学習指定校」となり、地域の文化や自然を異にする学校が、一泊二日で相互交流を図り、集団生活や野外活動の体験をしました。第一回は、八月九・十日、八幡浜市沖の大島での海の生活でした。河辺中の二・三年生三十五名は、真穴中二年生二十三名と共に、大島中全校生徒九名の温かい歓迎を受けました。第二回は、十一月六・七日、河辺での山の生活体験となりました。「龍馬脱藩の道」の講演を村上恒夫先生にいただいた後、全員が脱藩の道を探訪。これには、河辺中一年生も加わり、地域を見つめ直した一日となりました。ふるさととの宿での宿泊も楽しい思い出とな

友情の灯よいつまでも!!

り、二日目に取ったシイタケと一緒に、河辺の香りいっぱい包まれた生徒たちの心には、友情の灯がいつまでも燃え続けていくことでしょう。



～ 八幡浜からの友だち ～

で、ちらし寿司をいただきました。生徒達にも好評で、一人が三杯もおかわりをする子がいたほどです。PTAの皆様、本当にありがとうございました。

出店コーナーは、例年通りのにぎわいで、持ち寄っていただいたクッキー、ケーキなど、あつという間になくなってしまいました。なお、売り

上げで得たお金は、すべて、歳末助け合いの募金にさせていただきますました。

今回の文化祭では、地域の方々に登場していただく場面設定がなかったのが少し残念でした。

最後になりましたが、見学に来ていただいた皆様ありがとうございました。今年の文化祭にも御期待下さい。

「老人クラブと交流会 できたよ! しめ飾り」

老人クラブ(本田一会長)の方々十名が、十二月十七日午後、河辺小において五・六年生の三十三名と交流を深めると共に、年の瀬行事を体験してもらおうと、「しめ縄作り」を行いました。

多目的ホールで、お年寄りをリーダーに、選ったわらを縄になうことから形作りまで、昔ながらの技術を手をとって伝授。最初はとまどっていた子どもたちもお年寄りの熱心なアドバイスで「しめ縄」を作りあげました。完成品は、各自が家に持ち帰り、正月に飾り、新しい年を迎えました。



～ お年寄りを“先生”に ～

河辺小学校を会場に 「八幡浜管内教育研究大会」 開催される

去る十一月八日、河辺小学校を会場に、第二十九回愛媛県八幡浜管内大会「小学校第一学校群中間発表会」が、総合研究主題「豊かな人間性を育てる教育」のもと、盛会に行われました。

この研究は、八幡浜管内の全小学校がそれぞれの研究テーマにより、管内小学校百二校（会員、千百四十二名）で十三の学校群を編成し、三年サイクルで研究に取り組んでいるものです。

ちょうど二年目で、中間発表の年となり校舎も新しい河辺小学校で、第一学校群の「自



～ 熱心に講演を聴く会員 ～

開催される

ら学び、意欲的に取り組む児童の育成」をテーマに、八校（約百名の会員）が参加して、午前中は授業公開（一、三、五年）、さわやか音読集会、授業研究。午後は、全体会で研究発表（河辺小、福栞教諭）、研究協議、続いて、八幡浜教育事務所指導主事増池武雄先生の指導講話という日程で行われ、子どもたちが意欲的に学習に取り組んで



～ 楽しく学習する一年生 ～

いる様子や、二年生の音読、全員による「お祭り」の詩を群読する姿に感動され、また、研究の内容に多くの成果をあげ、閉会しました。

園児初体験

第四回父母の教室「もちつき大会」が十二月五日河辺小学校グラウンドにおいて行われました。

曇天にもかかわらず二十二人のお母さんがたが園児と共に、力強くきねをふりおろし、もち米十キロをみるみるうちにつき上げました。おもちは、子供達の手でまるめられ、あんもちに、又はお母さん手づくりのぜんざいに入れられ、つきたてのおもちを賞味しました。

もちつき機使用の多い現在、きねづき初体験の園児が多く、きょうこの思い出が深く心に残ってくれる事を願います。



～ ペッタン ペッタン ～

新年明けましておめでとうございます。

思えば、河辺中学校を卒業し高校生活と同時に下宿生活が始めてから、約二十年がたちました。今は、妻子五人家族で松山に住んでいます。

植松には、父母を残しておりませんが、仕事の忙しさを理由に盆と正月くらいにしか、河辺に帰ることをしていません。

この度の原稿依頼では改めて、故郷・河辺について考える機会に恵まれたことに感謝しています。

昨年も T V ニュースで、「龍馬の道・若者定住促進住宅・ふるさと」の宿イベン

ト・猪の放牧」等が流れる度に、地域活性化の事業に取り組みまれていることに、新鮮な驚きと同時に期待をしたものです。

このように、外から見ていますと人口構造の高齢化と若年者の流出という、四

国でも県都以外の自治体と同様の課題と悩みを抱え、いかに活性化させるかに努力されていることに対し、敬服しているところです。

正月には、ふるさとの宿周辺の公園事業を見て驚いたところです。

今後は、松山から車で二時間足らずの地の利を活かして週休二日制度を活かせる短期レク施設（ふるさとの宿を中心とした）の提供や、将来的には老後の U ターン 定住が安心して可能となる施設、老後は河辺で過ごせるということになれば、素晴らしいことだと思います。

思いつくままに、書きましたが、青い山、澄んだ夜空、鳥のさえずり、川のせせらぎに心を洗われる自然をいつまでも守って頂きたいと思えます。

最後になりましたが、ふるさとの皆様の御健康と御健勝を祈念申し上げます。

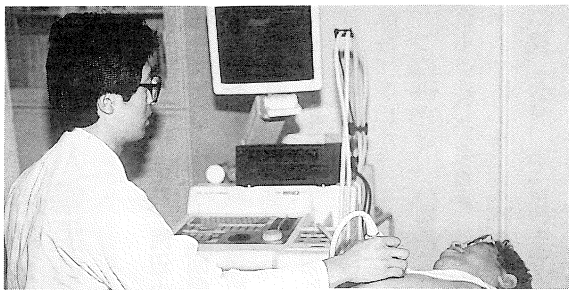
ふるさとに望む

松山市 藤原 司

(植松出身)



診療所だより



～ 超音波診断装置 ～

前任の重川先生の急病のため、昨年七月に私
が着任してから早や半年がたちました。この間
診療所・成人病検診・学校検診・乳幼児検診・
予防注射またバドミントンなどの場で皆様とお
会いすることができました。方言にも慣れ、私
にも河辺のことが少しずつわかってきたような
気がしてきています。

新しい年を迎え、このたび大野村長のご高配
また関係各位の方々のご尽力により診療所に新
しい超音波診断装置と大腸ファイバースコープ
が導入されました。この機会に皆様に診療所の
ことをさらによく知って利用して頂き健康づく
りのお手伝いができればと考え、「診療所だより」
のコーナーの新設をお願いしたところ快諾
を頂き感謝しております。皆様のご意見を反映
させながら連載させて頂くつもりですのでご支
援の程よろしくお願い致します。

新しい機器の紹介

(診療所長 加藤正隆)

一、超音波診断装置

主に肝臓・胆のう・膵臓・
脾臓・腎臓・膀胱・前立腺・
子宮などの腹部臓器の病気の
診断に用いますが、心臓・甲
状腺・乳腺なども診断できる
ように機能を追加しました。

当日の朝は飲食しないこと
と検査中におなかをふくらま
せたりひっこめたりすること
が必要だけで苦痛はありません。
最近「第二の聴診器」
としてよく行われる検査で
す。安心して受けて下さい。

二、大腸ファイバースコープ

大腸に炎症・潰瘍・ポリ
プ・癌などがないか観察する
いわゆる「大腸カメラ」です。
最近日本人にも大腸癌が増
え、河辺でも大腸癌検診が行
われるようになりました。大
腸癌は血便・下痢・便秘・腹
痛が主な症状ですが、初期は
全く症状がないことも多いの
です。これまで精密検査は大
洲や松山の病院まで行かな
ければ受けられませんでした
が、今年からは診療所で受
けることができます。

☆診療所でできる他の検査
ほとんどの血液・尿検査が
可能です。

心電図・負荷心電図(階段昇降)・ホルター心電図(二十四時間心電図)。

上部消化管ファイバース
コープ(胃カメラ)。
各種レントゲン検査(胸
部・腹部・胃腸・骨など)。
眼底検査。

これらの検査が日常的に行
われています。

胃カメラはこの半年間に約
百人の方に行い、癌・潰瘍な
どが多く見つかっています。

☆診療所の日常業務

診療所を訪れる方は高齢の
方が多く、脳卒中・心筋梗塞

のような取り返しのできない
病気になりにくいように高血
圧・糖尿病・高脂血症などの
慢性病を良好にコントロール
できるようアドバイス・治療
することが重要とされます。

また変形性膝関節症・肩関節
周囲炎(五十肩)・骨粗しょう
症などによる痛みを和らげる
治療を積極的に行っています。
もちろん急性疾患・救急疾
患には遅れることなく対応し
ます。

入院・診療所でできない検
査が必要な方には、ご本人・
家族の方と相談の上最も適当
な病院を紹介させて頂いてい
ます。

さらに、動けない方の救急
往診・寝たきりの方の定期往
診をしています。



～ スタッフ一同です ～

東洋医学診療について

現代医学で解決できない病
気や体質の異常の克服、薬の
副作用の問題などから漢方薬
が最近注目されています。か
ぜ、喘息・アレルギー性鼻
炎・アトピー性皮膚炎などの
アレルギー性疾患・肝臓病・
更年期障害・冷えなどの婦人
病には特に有効とされています。
診療所では漢方エキス製
剤の処方も行いますので気軽
に相談して下さい。

感染症情報

大洲地区では麻疹(はし
か)が散発し、水痘(水ぼう
そう)が全体的に増加傾向で
す。症状が持続する嘔吐下痢
症が多くみられます。インフ
ルエンザが関東甲信越地方で
は増加しています。

ニューフェイス

昨年十二月、佐々木美香江
さんが建設課から診療所にか
わり、受付・事務を担当して
います。また、退職された大
野恵美香さんにかわり河野奈
緒美さんが一月から勤務して
います。皆様どうぞよろしく
お願いします。

シルバーボランティア 交流研修開催

平成三年十二月二十五日
(月)、老人福祉センターにおいてシルバーボランティア交流研修会が開催され、六十五名の会員と関係者が一同に集いました。これは、各単位老人クラブごとにボランティア

活動を行なっている高齢者相互の交流及び研修の機会を設けることにより、高齢者の組織づくりや、ボランティア活動への参加、シルバーボランティアへの登録を促進し、高



～ 熱心に取り組まれていました ～

齢者のボランティア活動の振興を図る目的で行なわれました。

河辺村社会福祉協議会大野喜久雄会長の挨拶があり、続いて「ボランティア活動による福祉の村づくり」と題して社会教育指導員山内善行先生が「六十五歳以上の人口が七%を超えた時高齢化社会と言

ンティアの活動は重要になって来る。」と熱の入った講演を行なわれました。

活動事例発表では、北平老人クラブの本田一会長、大伍が、「ボランティア活動は、生活の一端であり、老人の技と知恵を後世に伝えたい。また、自分でボランティア活動ができない時は、自分のことは自分ですることもボランティアであると思う。」など、それぞれの地区における活動について発表されました。その後、全体会での意見交換を行ない、会員相互の親睦、交流を図りました。

年金ワンポイント

成人おめでとうございます

二十歳からスタート国民年金

一月十五日は、成人の日、皆さんは、二十歳になって何を始められますか。二十歳になると多くの権利が認められますが、同時に義務も生れてきます。

国民年金に加入することもその一つです。

国民年金は、自分の老後に備えるとともに、もう一つ重要な性格を持ち合わせています。

それは、若い働ける世代の人達が保険料を負担して老年

婦人と老人世代間交流学習

一月二十日(月) 基幹集落センター大会議室において、婦人と老人の世代間交流学習会が開催されました。

県同和教育課指導第一係、指導主事、友田義一先生を講師に迎え、婦人会会員四十六名、老人クラブ会員二十八名が同和問題について学びました。開会行事終了後、「差別の現実から学ぶ」と題した友田先生の講話が行なわれ、差別の起源から始まり、現実には部落差別に遭遇した人達の残酷とも言える悲しいお話に至り参加者は改めて差別の非情

世代の生活を支え、その人達が年をとった時には、その時代の現役世代の人達が支えるという「世代と世代の助け合い」の制度だということでした。

人は誰でも年をとります。「備えあれば憂いなし」というように、その時になって慌てぬよう若いときから準備しておきましょう。

二十歳になったあなた、今すぐ市町村役場で国民年金の加入手続きをしてください。

さを感じました。

今日のこの思いを忘れる事なく、一人一人が部落差別をなくすため努めなければなりません。



愛媛県立

中央病院から

県立中央病院(松山市春日町)では、立体駐車場建設工事のため平成四年二月一日から平成四年十月十五日までの間、駐車場が狭くなり駐車出来ないことがあります。

受診やお見舞などで来院される方は、できるだけ自家用車以外の公共交通機関等を利用されるようお願いいたします。



かわべ創造塾

創造塾では、冬期にチューリップとセントポリアを育てていると以前にお伝えしたと思います。

チューリップは、ふるさと生活館の前の花壇で春の日をじっとまっています。セントポリアは河辺の厳しい冬を越えるべく、老人福祉センターの作業場で簡易温室の力と福祉センターを管理されている方々の温かい御理解とに支えられ、元気にその葉を増やしています。中にはすでに一つ二つ花をつけていたものや、つぼみをつけているものもあります。

本来ならば、セントポリアの鉢も五百鉢は出来ているはずでしたが、勉強不足の為、苗を大量に枯らせてしまったのです。ですから、今の鉢数は、百あまり、とても残念なことをしたと思っています。

それは、苗自体も、失うことは残念ですが、その他に、苗を一つ一つの鉢に植えかえたり、苗をハウスに移したりする時間や労力、または、ハウスを貸して下さったり、いろいろ気をかけて下さった方の御好意を、勉強不足ということから無駄にしてしまった

ことが、より残念です。ですから、生き残った百あまりの、セントポリアの苗は、ちゃんと花をつけさせてやりたいと思っています。花(植物)は、人の心がわ

同和教育シリーズ

(40)

子供にとつて不愉快なことのひとつに兄弟の取り扱ひ上の差別があります。

家庭内でよく聞かれることばに、「兄のくせに」「兄らしくもない」「だから、あんたはだめな子……」

逆に弟に対して、「兄ちゃんは○○高校へ行つたのにあんたは……」「兄ちゃんはその子ではなかったのに」と、その子どもの個性や、この動機や、その時の心情など考えないで、ただ一時の感情で言っています。この不用意な言葉が、

子どもの心の中に、知らず知らずのうちにうぬぼれや卑屈さ、そして劣等感などを育て、やがては、相手の気持ちなどおかまひなく、偏見や偏愛の心をもつた人間として成長していくので

かるといふ話を聞いた事がありません。やはり、花に関心をもち、見守る心がよりきれいな花をさかせるのだと思います。

このような日常のお互いの態度が、人をみくびり、人を差別しても平気でおられるような子どもを育てることになります。親としてよく考えたいものです。

このことは兄弟に限らず、友人や近隣の人々に対する親の言動についても言えることです。「しっかりとしないと○○君のように……○○のような職業につくよりほかはないよ」わが子への励ましの言葉であるようですが、学歴、職業によって人のねうちをきめたりする差別感を育てることになります。親のこのような言葉に子どもの反論がありません。その時「子どものくせに」と子どもを封じこめな

いで、親も冷静に判断し、その立場を認め、子どもとともに学びともに育つという姿勢が欲しいものです。

(河辺村同和教育協議会)

短

歌

草原の虜囚の墓の空に消ゆる

団扇太鼓の音ぞむなしき

この町も過疎は来にけり住まぬ家

取り壊す音終日聞こゆ

懐かしき友のぬくもりありがたく

睨うるみて老を生きぬく

蠟梅のまばらに咲きて寒に入るも

庭にやさしき暖冬の日日

楽焼の花瓶もらいて床の間に

寒菊活けつつ除夜の鐘待つ

クラス会過ぎにしあの日のあれこれ

語り合いつつ今宵更けゆく

帰省せし孫子らそれぞれ帰りゆきて

一人しみじみ七草祝つ

増本喜久男

上林ヨシ子

大西ミツマ

戸田 薫明

久保ミヤ子

田中 敢美

谷本 愛子

消息

自 3・10・11
至 4・1・10

☆ お誕生おめでとう

日其川 本山明日香 父純主

上大成 富永 真世 父重則

☆ おくやみ申し上げます

長崎 柴野カ子ヨ 100歳

横通 石浦庄太郎 86歳

用の山 岡本 武福 76歳

編集後記

明けましておめでとうございます。平成四年もスタートしましたが、今年ほどどんな年になるのでしょうか。

公民館職員一同心を新たに頑張りたいと思っております。今後とも公民館活動にご理解、ご協力の程よろしくお願ひいたします。